

災害救護
研究所
セミナー

写真／懸命に治療にあたる看護師 ©Atsushi Shibuya/JRCS(写真提供:日本赤十字社)

新型コロナウイルス感染症の体験から

私たちは何を 予測し備え行動 すればよいか

2026

2.28

SATURDAY

14:00▶16:00

参加費無料

〔基調講演〕
大曲貴夫氏

国立国際医療センター
国際感染症センター長

写真／集団感染が確認されたクルーズ船へ向かう日赤救護班(写真提供:日本赤十字社)



令和2年 新型コロナウイルス 医療対応



令和2年7月豪雨 被災者を診察する救護班



令和6年能登半島地震 巡回診療を行う救護班

国内では2025年4月に国立健康危機管理研究機構(JIHS)が創設され、
世界では同年5月20日、WHOで感染症対策の強化のための
新たな国際条約「パンデミック条約」が全会一致で正式に採択されました。
本研究所では、国家レベルでの感染症対策戦略や本研究所の活動状況を共有し、
コロナ禍から得た経験知を活かし、今後來たる新興感染症に対して、
私たちが何を予測し、どのように備えるかを考えます。

プログラム

開会の辞 富田 博樹 (災害救護研究所 所長、学校法人日本赤十字学園 理事長)

挨拶 清家 篤 (日本赤十字社 社長)

第一部 座長 古宮 伸洋 (災害救護研究所 感染症部門長)

- 1 大曲 貴夫 (国立国際医療センター 国際感染症センター長)
基調講演「COVID-19の経験を踏まえたNEXT PANDEMICへの備え」
- 2 古宮 伸洋 (災害救護研究所 感染症部門長)
活動事例「日本赤十字社の新型コロナウイルス感染症対応から学んだこと」

第二部 座長 丸山 嘉一 (災害救護研究所 副所長)

- 1 中出 雅治 (災害救護研究所 国際医療救援部門長)
大阪・関西万博出展報告「災害医療 -脱炭素化への挑戦-」
- 2 佐藤 展章 (災害救護研究所 国際救援部門長)
「第23回世界災害救急医学会(WADEM 2025)報告」

講評 鈴木 俊彦 (日本赤十字社 副社長)

閉会の辞 守田 美奈子 (日本赤十字看護大学 学長)

参加方法

下記の申込フォームURL、または二次元コードからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S4206459/>

災害救護研究所 🔍 検索



セミナーは、Zoomを使用して配信します。
視聴用のURLは、お申込みをされた方の登録いただきましたメールアドレス宛に配信します。
受信設定をされている方はpostman@formzu.comが受信できるように設定をお願いします。

当日申込可能